【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第４区分
【発行日】平成17年6月30日(2005.6.30)

【公開番号】特開2000-182317(P2000-182317A)
【公開日】平成12年6月30日(2000.6.30)
【出願番号】特願平10-375467
【国際特許分類第７版】
　Ｇ１１Ｂ　19/20
　Ｇ１１Ｂ　19/247
　Ｇ１１Ｂ　19/28
【ＦＩ】
　Ｇ１１Ｂ　19/20　　Ｊ
　Ｇ１１Ｂ　19/247　　Ｒ
　Ｇ１１Ｂ　19/28　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成16年10月20日(2004.10.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ディスクが載置または嵌合され、該ディスタの円周方向に移動可能におもり部材が装着された台を回転させるためのモータを駆動させる駆動部と、
前記駆動部が駆動させるモータにより回転させられる台の回転速度を検出する検出部と、
前記検出部の検出する回転速度が所定の値に達したとき、前記駆動部の動作を制御する制御部と、
前記制御部により制御された回転速度で回転する前記台に載置または嵌台されたディスクから信号を読み取り該信号を情報として再生する手段とを具備することを特徴とするディスクドライブ装置。
【請求項２】
ディスクが載置または嵌台され、該ディスクの円周方向に移動可能におもり部材が装着された台を回転させるためのモータを駆動させる駆動部と、
前記駆動部が駆動させるモータの回転速度で回転する前記台に載置または嵌合されたディスクから信号を読み取り該信号を情報として再生する手段と、
前記ディスクから読み取られた信号自体にエラーがあったときにエラー訂正を行なうエラー訂正部と、
前記エラー訂正部が行なうエラー訂正の頻度が所定の値に達したとき、前記駆動部の動作を制御する制御部とを具備することを特徴とするディスクドライブ装置。
【請求項３】
ディスクが載置または嵌合され、該ディスクの円周方向に移動可能におもり部材が装着された台を回転させるためのモータを駆動させる駆動部と、
前記駆動部が駆動させるモータの回転速度で回転する前記台に載置または嵌合されたディスクから信号を読み取り該信号を情報として再生する手段と、
前記ディスクから信号読み取り動作にエラーがあったときにエラー訂正を行なうエラー訂正部と、

前記エラー訂正部が行なうエラー訂正の頻度が所定の値に達したとき、前記駆動部の動作を制御する制御部とを具備することを特徴とするディスクドライブ装置。
【請求項４】
請求項１ないし３のいずれか１項に記載のディスクドライブ装置において、
前記駆動部は、前記台の回転速度として通常の回転速度よりも遅い第１の回転速度と、
前記第１の回転速度よりも速く前記通常の回転速度よりも遅い第２の回転速度との間で回転速度を切り替え可能に制御する速度移行制御手段をさらに具備することを特徴とするディスクドライブ装置。
【請求項５】
前記速度移行制御手段は、前記検出部によって検出された回転速度に係る信号を利用して、前記おもり部材が前記台に載置または嵌合されたディスクの回転振動を吸収するキャンセル効果を確認する効果確認手段をさらに具備することを特徴とする請求項４記載のディスクドライブ装置。
【請求項６】
前記速度移行制御手段は、前記検出部が検出した台の回転速度に関する値が規定値よりも小さくなったときに制動する手段をさらに具備することを特徴とする請求項４記載のディスクドライブ装置。
【請求項７】
ディスクが載置または嵌合され、該ディスクの円周方向に移動可能におもり部材が装着された台を回転させるためのモータを駆動させる第１のステップと、
前記駆動部が駆動させるモータにより回転させられる台の回転速度を検出するステップと、
前記検出部の検出する回転速度が所定の値に達したとき、前記駆動部の動作を制御するステップと、
前記制御部により制御された回転速度で回転する前記台に載置または嵌合されたディスクから信号を読み取り該信号を情報として再生するステップとを具備することを特徴とするディスクモータの回転制御方法。
【請求項８】
ディスクが載置または嵌台され、該ディスクの円周方向に移動可能におもり部材が装着された台を回転させるためのモータを駆動させる第１のステップと、
前記駆動部が駆動させるモータの回転速度で回転する前記台に載置または嵌合されたディスクから信号を読み取り該信号を情報として再生するステップと、
前記ディスクから読み取られた信号自体にエラーがあったときにエラー訂正を行なうステップと、
前記エラー訂正部が行なうエラー訂正の頻度が所定の値に達したとき、前記駆動部の動作を制御するステップとを具備することを特徴とするディスクモータの回転制御方法。
【請求項９】
ディスクが載置または嵌合され、該ディスクの円周方向に移動可能におもり部材が装着された台を回転させるためのモータを駆動させる第１のステップと、
前記駆動部が駆動させるモータの回転速度で回転する前記台に載置または嵌合されたディスクから信号を読み取り該信号を情報として再生するステップと、
前記ディスクから信号読み取り動作にエラーがあったときにエラー訂正を行なうステップと、
前記エラー訂正部が行なうエラー訂正の頻度が所定の値に達したとき、前記駆動部の動作を制御するステップとを具備することを特徴とするディスクモータの回転制御方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００１１】
【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、請求項１記載の本発明のディスクドライブ装置は、ディスクが載置または嵌合され、該ディスクの円周方向に移動可能におもり部材が装着された台を回転させるためのモータを駆動させる駆動部と、前記駆動部が駆動させるモータにより回転させられる台の回転速度を検出する検出部と、前記検出部の検出する回転速度が所定の値に達したとき、前記駆動部の動作を制御する制御部と、前記制御部により制御された回転速度で回転する前記台に載置または嵌合されたディスクから信号を読み取り該信号を情報として再生する手段とを具備することを特徴としている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
また、請求項４記載の本発明のディスクトライブ装置は、請求項１ないし３のいずれか１項に記載のディスクドライブ装置において、前記駆動部は、前記台の回転速度として通常の回転速度よりも遅い第１の転速度と、前記第１の回転速度よりも速く前記通常の回転速度よりも遅い第２の回転速度との間で回転速度を切り替え可能に制御する速度移行制御手段をさらに具備することを特徴としている。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
また、請求項５記載の本発明のディスクドライブ装置は、前記速度制御手段は、前記検出部によって検出された回転速度に係る信号を利用して、前記おもり部材が前記台に載置または嵌合されたディスクの回転振動を吸収するキャンセル効果を確認する効果確認手段をさらに具備することを特徴としている。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
また、請求項６記載の本発明のディスクドライブ装置は、前記速度制御手段は、前記検出部が検出した台の回転速度に関する値が規定値よりも小さくなったときに制動する手段を

さらに具備することを特徴としている。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
さらに、請求項7記載の本発明のディスクモータの回転制御方法は、ディスクが載置または嵌合され、該ディスクの円周方向に移動可能におもり部材が装着された台を回転させるためのモータを駆動させる第１のステップと、前記駆動部が駆動させるモータにより回転させられる台の回転速度を検出するステップと、前記検出部の検出する回転速度が所定の値に達したとき、前記駆動部の動作を制御するステップと、前記制御部により制御された回転速度で回転する前記台に載置または嵌合されたディスクから信号を読み取り該信号を情報として再生するステップとを具備することを特徴としている。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
また、請求項8記載の本発明のディスクモータの回転制御方法は、ディスクが載置または嵌合され、該ディスクの円周方向に移動可能におもり部材が装着された台を回転させるためのモータを駆動させる第１のステップと、前記駆動部が駆動させるモータの回転速度で回転する前記台に載置または嵌合されたディスクから信号を読み取り該信号を情報として再生するステップと、前記ディスクから読み取られた信号自体にエラーがあったときにエラー訂正を行なうステップと、前記エラー訂正部が行なうエラー訂正の頻度が所定の値に達したとき、前記駆動部の動作を制御するステップとを具備することを特徴としている。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】
また、請求項9記載の本発明のディスクモータの回転制御方法は、ディスクが載置または嵌合され、該ディスクの円周方向に移動可能におもり部材が装着された台を回転させるためのモータを駆動させる第１のステップと、前記駆動部が駆動させるモータの回転速度で回転する前記台に載置または嵌合されたディスクから信号を読み取り該信号を情報として再生するステップと、前記ディスクから信号読み取り動作にエラーがあったときにエラー訂正を行なうステップと、前記エラー訂正部が行なうエラー訂正の頻度が所定の値に達したとき、前記駆動部の動作を制御するステップとを具備することを特徴としている。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】削除
【補正の内容】